

入賞

一般建築物の部

地域に開かれた「くすりづくりの全てを見せる工場」

沢井製薬株式会社関東工場

敷地のある茂原市東郷地区は工業系土地利用の更新を進めながら田園風景を活かした町づくりが進められている。この建物は約2年をかけ、周辺の歩道整備、調整池の設置、並木や薬木などを配置することで地域環境の改善に力を注ぎ、景観を一新させた。周辺の住宅や学校と共存して、新しい工場のあり方を提示したと言える。

また日本で唯一の「くすりづくりの全てを見せる工場」が大きな特徴である。薬剤に関わる専門職の方はもちろんのこと、患者、地域住民も見学を訪れる。見学ルートは生産工程と同様とし、精密でクリーン、安全なくすりづくりの全容が見られるようになっている。建物の構造は製剤プログラムに合わせて、最新の製造設備機器が縦横に往来できるよう計画されている。作業する人とくすりは製剤課程で完全に分離され、それを俯瞰するかのように見学者ルートが考えられている。建築設計者との緻密な連携が必要だったと想像できる。

その他、沢井製薬のロゴマークの健康増進ラインをイメージした曲面ファサードやイメージカラーを積極的に使ったサイン計画など工場の概念が払拭されている。

専門家でなければわからなかった「くすり」がより身近な存在となったといえるだろう。

(藤本 香)



鳥瞰写真

最新の製薬行程を学べる見学者廊下



建築主：沢井製薬株式会社
設計：大成建設株式会社一級建築士事務所
施工：大成建設株式会社 千葉支店
所在地：茂原市東郷1900-1

7

入賞

一般建築物の部

新しい教育環境の創造

学校法人渋谷教育学園幕張中学・幕張高等学校 30周年記念棟

千葉県美浜区若葉に計画された図書館と芸術・情報系の特別教室を複合させた新たな学習の場としての機能を持つ建築物である。建築面積1,976.75㎡、延べ面積6,074.34㎡、4万から約12万冊に収容書籍数を増やし従来からの図書館機能を拡充することに加え、コンピュータ・音楽・アートなどの教室を同一空間内に設けて視覚的にも連続させることで、自調・自考という建学の精神を具現化した学習センターとしての図書館、階段室の吹抜けを利用した自然換気・テラス部の緑化等環境に配慮した計画である。三角形の吹抜けをもつチュードホールは、上下階のホールや地階の図書館とも視覚的に連続している。方向性を持たない安定した自然光による内部空間。三角形の断面がピロティーの上に浮かぶ象徴的な形態は、自ら調べる知層としての図書館の上部に、自ら考える機能を持つ楔形の空間を乗せた記念館である。西側斜面状の三角形断面により図書館へ、間接光を取り入れると同時に西側グラウンドへの日射確保やグラウンドに吹く風を受け流す効果も生み出している。

(圓崎 直之)



建学の精神「自調」・「自考」を具現化したファサード
自ら調べる図書館の上に、自ら考える楔形の空間を乗せた記念館に相応しい象徴的な形態



内部階段
三角形の空間を結ぶ光溢れる階段
(撮影/小川泰祐)

建築主：学校法人渋谷教育学園
設計：株式会社竹中工務店
施工：株式会社竹中工務店
所在地：千葉県美浜区若葉1丁目3番地